

年間授業計画様式

日野高等学校 令和5年度 教科[ 理科 ] 科目[ 生物特講 ] 年間授業計画

教科：理科 科目：生物特講 単位数：2単位  
対象学年組：第3学年（B類型）  
教科担当者：（1組：黒須）（2組：黒須）（3組：黒須）  
使用教科書：改訂高等学校生物基礎（第一学習社） 改訂高等学校生物（第一学習社）  
使用教材：ニュースページ生物図表（浜島書店） セミナー 生物基礎＋生物（第一学習社）

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
	ガイダンス 生物の概要 および確認テスト	ガイダンスおよび生物基礎確認テスト	定期考査の得点・授業態度・ 提出物などを総合的に評価する。	2
	生物の多様性とバイオーム	バイオームの概念について理解させる 植生の成り立ちとその遷移について理解させる	定期考査の得点・授業態度・ 提出物などを総合的に評価する。	2
		気候とバイオームの関係について理解させる 生態系のバランスについて具体例を示し学習する	定期考査の得点・授業態度・ 提出物などを総合的に評価する。	2
	顕微鏡の使い方	顕微鏡およびマイクロメーターの使い方およびスケッチの方法について確認する	定期考査の得点・授業態度・ 提出物などを総合的に評価する。	1

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月		生物群集と生態系	個体の分布様式を理解し、個体群の大きさの調査法について意欲的に学習しようとする。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
			環境形成作用と多様な種の共存の関係を理解している		2
		中間考査	中間考査	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	1
		生物の特徴	さまざまな細胞の違い、生物の体のつくりについて細部まで理解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2

	指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月				
	生物の特徴	さまざまな細胞の違い、生物の体のつくりについて細部まで理解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	細胞とエネルギー	ATPの構造および酵素の働きについて理解させる 呼吸と光合成についてその仕組みの概要を解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	遺伝情報の複製と分配	分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	遺伝情報とタンパク質の合成	アミノ酸・タンパク質の構造について理解させる タンパク質の合成について理解させる 遺伝子とゲノム、遺伝子の発現について理解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	期末考査	期末考査	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	1
	生体防御	自然免疫と獲得免疫があることを理解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	自然免疫と獲得免疫の特徴	獲得免疫には体液性免疫と細胞性免疫があることを理解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	免疫と医療	アレルギーをはじめとする免疫疾患や免疫を利用した医療について理解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				

	指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月				
	体内環境と恒常性	肝臓・腎臓の構造と働きについて理解させる 体液の濃度調節について理解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	自律神経系の働きと構造 内分泌系による調節	自律神経とホルモンについて理解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	自律神経系と内分泌系による調節	血糖量の調節に自律神経とホルモンがどのように働くかを理解させる 体温の調節に自律神経とホルモンがどのように働くかを理解させる	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	生物群集と生態系	キーストーン種が多種の生物の共存を可能にする場合があることを理解し、そのしくみを説明できる。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2

	指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	生態系の物質生産	生態系における物質生産に関心をもち、エネルギー効率を科学的に理解しようとする。 栄養段階におけるエネルギー効率を求めることができる。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	生態系と生物多様性	生息地の分断や外来生物の侵入および攪乱が生態系に与える影響に関心をもち、意欲的に理解しようとする。生物多様性保全の意義について意欲的に理解しようとする。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	中間考査	中間考査	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	1
	進化のしくみ 生物の起源と生物の変遷	進化が起こる仕組みにいて理解しようとする。 原始地球の環境や化学進化に関心をもち、原始生命が誕生した経緯について意欲的に学習しようとする。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	生物の起源と生物の変遷	古生代・中生代・新生代の生物の変遷に興味をもち、意欲的に学習しようとする。 人類の出現とその特徴について関心を示し、積極的に理解しようとする。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	生物の分類の変遷と系統	人為分類と系統分類の違いや種の表し方に関心をもち、理解しようとする。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	生物の系統関係	二名法による種の表し方を理解している。 系統樹は生物が進化してきた経路を現していることを理解している。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
	生物の系統関係	3ドメインおよび五界説の考え方を理解し、それぞれの生物がどのように分類されるかを理解する。	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2



		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月					
		期末考査	期末考査	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	1
		問題演習	問題集および大学入試・センター過去問を使用し問題演習を行う	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2
		問題演習	問題集および大学入試・センター過去問を使用し問題演習を行う	定期考査の得点・授業態度・提出物などを総合的に評価する。	2

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月				
	問題演習	個別指導 問題集および大学入試・センター過去問を使用し問題演習を行う	定期考査の得点・授業態度・ 提出物などを総合的に評価する。	2

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月				

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				